



< 各項目の解説 >

- ①分析法・分析値
分析法を表示しています。
分析値が過剰又は欠乏している場合は赤字で表示しています。
- ②各成分の栄養状態・バランス
中央部の緑色の●が多いほうが土壤バランスが良く、赤色の●があれば改善が必要です。
- ③多量要素の測定値(mg/100g)
窒素・リン酸・加里・石灰・苦土が土壤中にどれだけ残っているかを表示しています。
数値にkgをつければ10aあたりの量となります。例) 加里 204→10aに204kgの加里が含まれています。
- ④微量元素の測定値(mg/kg)
ごく微量でも重要な働きをする微量元素が土壤中にどれだけ含まれているかを表示しています。
1mg/kgは10aあたり100gの量となります。例) 亜鉛 4.3→10aに430gの亜鉛が含まれています。
- ⑤加里・石灰・苦土の塩基バランス
塩基バランスが標準より外れてくると、一方の成分が他方の成分の吸収を抑制します。
塩基バランスが崩れると、土壤中に十分に含有していても欠乏症状が発生することがあります。
- ⑥地力を示す項目
塩基置換容量 土壤が塩基(加里・石灰・苦土)をどれだけ保持できるかを表示しています。
(CEC) 保肥力が高いか低いかを示します。
塩基飽和度 塩基置換容量に対して塩基がどれだけ吸着保持されているかを表示しています。
100%を超えると緩衝能がなくなり、根やけなどが発生しやすくなります。
腐植 有機物が分解されてこれ以上分解されなくなったものを腐植といいます。
腐植は土壤の団粒構造維持や保肥力の向上などに必要です。
- ⑦リン酸を吸収固定する力
高いとリン酸の固定力が強いので、施用したリン酸が作物に吸収されにくくなります。
低いとリン酸が集積しやすく、過剰のリン酸が鉄や亜鉛を不溶化するなどの問題が発生しやすくなります。
- ⑧分析結果に対する説明および欠乏・過剰事例などを解説しています。
- ⑨都道府県又はJAなどの当地の施肥基準
- ⑩分析結果に基づいた、適切な施肥量(窒素・リン酸・加里)
- ⑪分析結果に基づいた、必要な肥料(窒素・リン酸・加里以外)や土壤改良剤の種類・施用量

